

第28回日教組人権教育実践交流集会

2月23日(土)～24日(日)に奈良県で開催され、高教組から2人が参加しました。

1日めは、竹平均さん(元日教組人権教育推進委員長)の『「人権教育指針」改訂の経過と主旨～単組レベルで日常の教育実践に具体化していくことへの提言』と題した講演の後、憲法・子どもの権利条約と人権教育、両性の自立と平等をめざす教育、インクルーシブ教育などの各分科会で意見交換を行いました。2日めはフィールドワークで、水平社博物館や水平社宣言ゆかりの西光寺(住職の講話)、強制移転させられた洞村跡地や北山十八間戸など、奈良市内の人権スポットを巡り更に学習を深めました。

人権教育実践交流会は、「日教組人権教育指針」にもとづく人権教育の推進を目的に開催されるものです。改憲の動きの中で、平和の基盤となる個人の尊厳・平等・相互の尊重など、民主主義の原理を支える人権教育の推進がますます求められています。高教組は人権に関する学習を今後も深めていきます。

第28回 日教組 人権教育実践交流集会 報告

盛岡みたけ支援奥中山分会 吉田 仰希

2019年2月23日(土)、24日(日)の2日間にわたり、奈良県奈良市で第28回日教組人権教育実践交流集会が開催されました。全国各地から約200人の参加者が集まりました。

初日の全体会では、07年の日教組人権教育指針改訂時に人権教育推進委員長であった元奈良教組委員長竹平均さんによる講演『「人権教育指針」改訂の経過と趣旨』がありました。その後、私は「インクルーシブ教育」の分科会に参加しました。実践報告をもとにした協議の中で出た「海がない地域だから津波について教えなくてもよい、ということがないように、部落差別問題がない地域だからといって部落差別について教えなくてもよいということはない」という話が岩手の教員としてとても印象に残りました。

2日めのフィールドワークは「水平社博物館・水平社宣言ゆかりの西光寺」「強制移転させられた洞村跡地とおおくぼまちづくり館」「水平社事務所跡地など奈良市内の人権スポット散策」の3つのコースに分かれて現地学びました。私は3番めのコースに参加しましたが、奈良公園から徒歩圏内に人権や人権教育に関する場所が多数あることに驚かされました。地域の児童生徒は、人権教育に関するスポットに実際に赴きながら学びを深めているとのことでした。初日の夜には、全体での交流会、さらには青年層での交流会もあり、他県の先生方と様々な情報交換をすることができました。

第28回日教組人権教育実践交流集会に参加して

大野高校分会 屋形場 哲也

全体会から始まり、講演では元奈良教組委員長からこれまでの人権教育の歴史を教えてくださいました。今回で28回目であるが、そのスタートからかわり、これまで様々な思いを胸に現在に至っていることにとってもこころをうたれた。

第3分科会〈両性の自立と平等をめざす教育〉に参加した。LGBTについて様々な現状が話し合われ、体育の授業では男女別に分かれているのかが話題になった。続いて男女混合名簿について、各県の現状を報告し合った。最後に、女子の制服について、ズボンタイプも希望者には購入を検討している学校があるとの報告があった。まだ検討中のようなのであるが、このような分科会に初めて参加して今後検討していかなければいけない必要性を強く感じた。

2日めのフィールドワークは水平社博物館やその正面にある西行寺住職の講話を拝聴した。博物館では水平社宣言の歴史を少し理解できた。とても複雑な思いになり、涙が溢れてきた。「人間の尊厳」についてあらためて考えさせられた2日間であった。今後も学習を継続するの必要を感じた。